

アジア・オセアニア剣道の新たな展開へ 第1回アジア・オセアニア剣道選手権大会、5月30日・31日開催 「ひとつの道、心はひとつ」— 地域をつなぐ国際舞台へ

公益財団法人 全日本剣道連盟（会長：真砂威、東京都千代田区）は、2026年5月30日（土）・31日（日）の2日間にわたり、東京武道館（東京都足立区）において開催される「第1回アジア・オセアニア剣道選手権大会」（主催：アジア・オセアニア剣道連盟／主管：全日本剣道連盟・東京都剣道連盟／共催：東京都）についてお知らせいたします。



1AOKC大会ロゴマーク

本大会は、2025年に設立されたアジア・オセアニア剣道連盟（AOKF）のもとで初めて開催される公式大会であり、同地域における剣道の普及と発展、ならびに国際的な連携の強化を目的としています。アジア・オセアニアの23の国と地域から剣士が集い、競技と交流の双方を通じて、その基盤づくりを推進します。

大会では、「ひとつの道、心はひとつ」をコンセプトに掲げています。同じ「剣道」という道を歩む仲間として、国や言葉、文化の違いを越えて集い、志を共有する場とすることを目指しています。

このコンセプトは、大会の構成にも反映されています。たとえば三段以下の部の新設により、これまで上位進出が難しかった国・地域の選手にも活躍の機会を広げ、地域全体での競技力向上と参加意義の醸成につなげています。

また、大会特設サイトでは、参加する23の国と地域それぞれから、その国の言葉で「剣道やろうよ！」と呼びかける動画メッセージを公開しています。異なる言葉と表現でありながら、剣道への思いはひとつであることを伝える試みです。

本大会は、勝敗を競う場であるとともに、剣道の価値や魅力を広く伝え、今後の普及につなげていく機会でもあります。地域を越えた連携を促進しながら、各地域における大会と普及の循環を生み出し、国際的な展開を支える基盤づくりを進めてまいります。

■ 大会概要

【期間】2026年5月30日（土）～31日（日）

【会場】東京武道館（東京都足立区）

【参加国・地域】23カ国・地域

【主催】アジア・オセアニア剣道連盟（AOKF）

【主管】公益財団法人全日本剣道連盟（AJKF）・一般財団法人東京都剣道連盟

【共催】東京都

【大会スケジュール】

（1日目 5/30）開会式／男女個人戦（三段以下の部／段位無制限の部）／各種演武／剣道体験会

（2日目 5/31）男女団体戦／剣道体験会／閉会式

本大会では、剣道に加え、居合道・杖道を含めた「三道体験」を実施します。武道としての広がりに触れる機会として実施されるものです。

■ 大会情報配信について

本大会の様子はライブ配信を予定しており、国内外からご覧いただけます。

配信情報や試合スケジュール、出場国・地域などの詳細は、大会特設サイト（1aokc.jp）にて公開しております。

※本大会の現地観戦の事前予約受付はすでに終了しております。

【ライブ配信情報】

<大会ライブ配信チャンネルリスト>

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLaKZ0PAEUfwUuG-VkGyElmndGBawbxExR>

<大会結果速報>

<https://1aokc.jp/results>

【大会特設サイト】

<https://1aokc.jp>

■ 大会ロゴマークについて

本大会のロゴマークは、内藤正徳氏によるものです。「選手の面越しに広がる風景」をモチーフにデザインされています。選手の視界に広がる赤く燃える空と、まっすぐに続く金色の道を通じて、剣道という一本の道を象徴的に表現しています。

■ 今後の展開

本大会は、地域ごとの大会を基盤とした国際的な展開の中で、来年開催予定の第20回世界剣道選手権大会（20WKC）へとつながる取り組みの一つです。先般公開した、世界へひらく剣道、20WKC特設サイトとあわせ、剣道の国際的な展開を段階的に推進してまいります。

なお、5月31日（日）の大会終了後には、試合結果および大会総括に関するリリースを別途発信予定です。



出場各国・地域から届いた「剣道やろうよ！」
<https://1aokc.jp/players>

■ 参考URL

【大会特設サイト】 <https://1aokc.jp/>

【全日本剣道連盟公式サイト】 <https://www.kendo.or.jp/>

【本リリースに関する報道お問い合わせ先】

全日本剣道連盟 情報広報部 新美

Mail : zenkenren@kendo.or.jp

Tel : 03-3211-5804

